

吉野復興大臣の福島県訪問ぶら下がり会見録
(平成30年4月1日(日)於) 11:00~11:04 福島県富岡町)

1. 発言要旨

(内堀知事)

ふたば医療センター附属病院が本日、開院式を迎えることができ、本当にうれしく思います。

この附属病院は、三つの安心を担っています。この地域に住んでおられる住民の皆さん、この地域で働いておられる皆さん、そして、企業として進出される皆さん、この皆さんの安心を担う大切な地域医療の要となります。

これから二次救急医療、地域医療の支援を通じて、この地域の医療の核として活躍をされることを期待しています。

私からは以上です。

(吉野大臣)

今、知事がおっしゃいました三つの役割、帰還ができること、働く人たちのための医療体制、進出する企業、この三つの役割をこの附属病院は担っているわけです。

そして、ここにはマイヘリコプターがあって、ここは二次救急ですから、三次が必要だという場合には、ヘリコプター移送により一刻を争う命を守る、そういう機能もごございますので、双葉郡にとっては本当にすばらしい病院になるというふうに思っております。

以上です。

2. 質疑応答

(問) 内堀知事に伺います。改めてこちらの病院、開院したことで、この地域にどういった影響があるかというその意義と、あと、運営に当たって現状で課題等々あれば、教えていただきたいのですが。

(内堀知事) 昨年春、避難指示が大きく解除されました。震災から丸7年、地域の住民の皆さんは、帰られる方もおられますし、これから帰ろうかどうか悩んでいる方、様々な思いを抱えています。そういう住民の皆さんにとって、地域医療がしっかりと確保されることが極めて重要です。

特に、二次救急医療、24時間365日、常に安心の砦(とりで)がある、この状況というものが、非常に住民の帰還にとって重要です。

本日のこのふたば医療センター附属病院の開院によって、その機能を担うことができ、今後また一人でも多くの住民の皆さんが、

安心して帰還することができることを期待しています。

あわせて、現在この地域には、数多くの復興事業に関係する方々が働いておられます。そういった方々が日々の仕事を一生懸命行って、安心して働くことができるよう、この病院が役割を果たしてくれそうです。

また、これからこの双葉地域に企業として進出して、新しい産業を興そうという方々もおられます。その企業の皆さんにとって、救急医療の核がありますということが、非常に大きな魅力につながります。

こういった三つの安心を果たすことによって、この双葉郡の復興、そして、浜通りの復興・再生を更に前に進めることができると期待しています。

(以 上)